

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	新潟大学医歯学総合病院における眠剤使用と院内複数回転落・転倒および骨折と関連
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
【対象】 2021年1月から2025年12月の間に新潟大学医歯学総合病院で発生し、インシデントとして報告された院内転落・転倒例（20歳以上，上限なし） 【研究期間】 新潟大学医学部倫理審査委員会承認後から2028年3月31日まで 【過去の研究課題名】 なし	
③概要	
2021年1月から2025年12月の間に新潟大学医歯学総合病院で発生し、インシデントとして報告された院内転落・転倒例を対象として、眠剤使用と複数回転倒および骨折に伴った骨折例との関連を後方視的に調査し、危険因子の同定を行います。	
④申請番号	2026-0167
⑤研究の目的・意義	入院患者の院内転落・転倒は年間入院患者の1-4%生じると考えられており、300床程度の施設では年間300例ほどの転落・転倒例があると報告されています。多くは骨折や挫創を伴わないが、一部の症例で骨折を生じることがあります。以前私たちは院内転落・転倒に関連した、複数回転倒および骨折に関する危険因子を調査し、報告しました（Imai N, et. Al Medical Sciences 2026）。 本研究の目的は新潟大学医歯学総合病院における使用している睡眠薬の種類，使用数と院内複数回転倒およびそれに関連した骨折の危険因子を同定することです。
⑥研究期間	新潟大学倫理審査委員会承認後から2028年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	診療録情報を用いた後方視的研究であり、新たに生じる不利益、危険性はないと考えられます。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	・年齢 ・性別 ・受傷日時 ・骨折部位 ・入院科，対象疾患

	・併存症 ・内服薬（眠剤の種類，使用数） ・受傷前の活動性 ・認知症の有無，程度 ・受傷場所 ・受傷状況（転倒，ベッドからの転落など） ・行動目的（トイレに行こうとしたなど）
⑨利用の範囲	新潟大学大学院医歯学総合研究科 健康寿命延伸・運動器疾患医学講座および整形外科
⑩試料・情報の管理について 責任を有する者	新潟大学大学院医歯学総合研究科 健康寿命延伸・運動器疾患医学講座 今井 教雄
⑪お問い合わせ先	新潟大学大学院医歯学総合研究科 健康寿命延伸・運動器疾患医学講座 今井 教雄 025-227-2272 imainorio2001@med.niigata-u.ac.jp